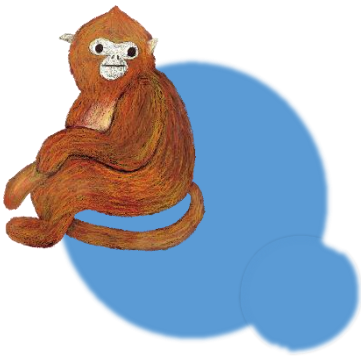
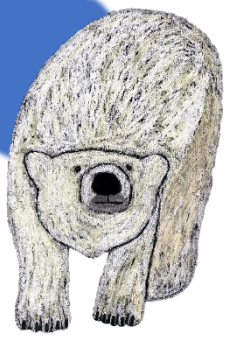


水辺の動植物園

熊本市動植物園
学習プログラム集

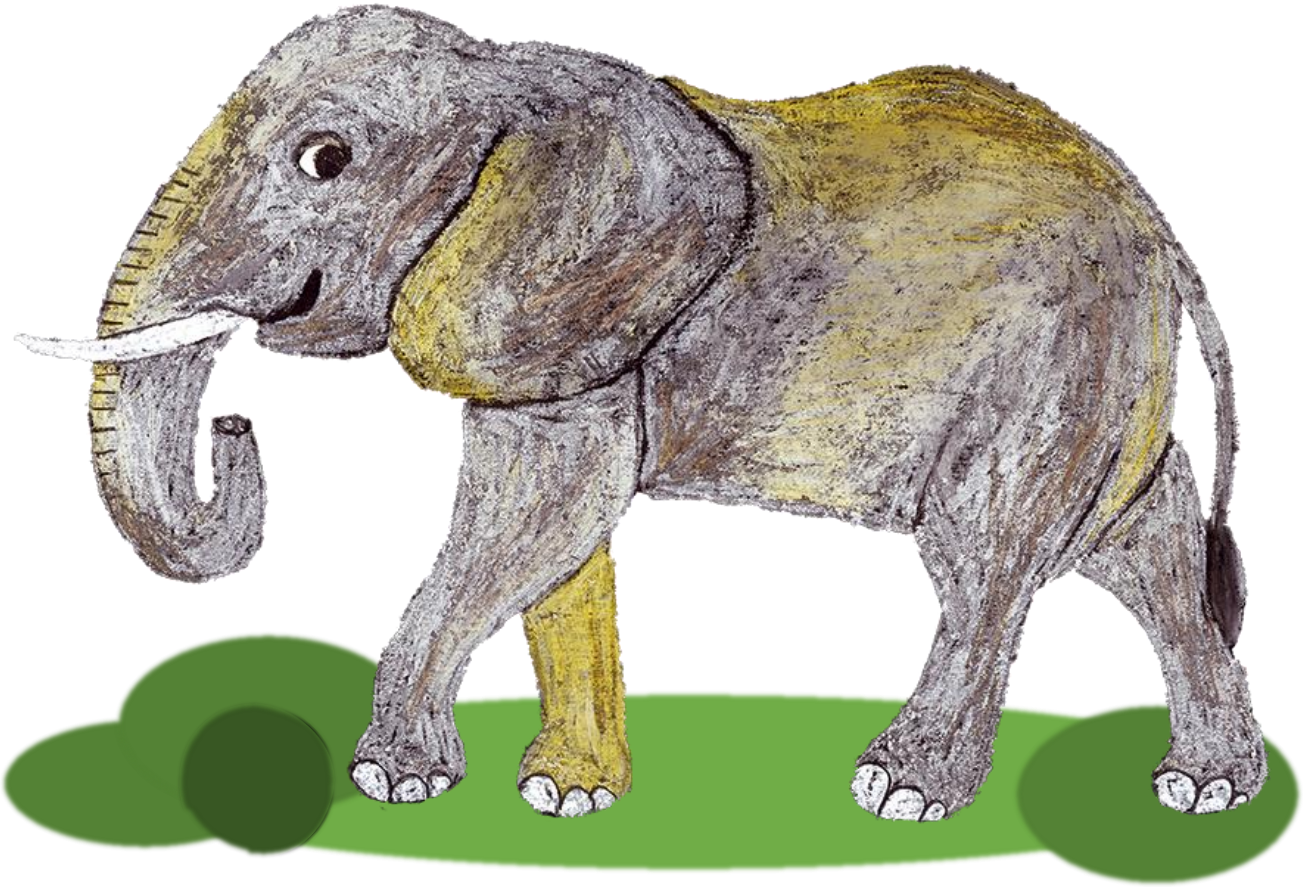


令和５年（2023 年）３月

目次

1. はじめに 1
2. 学習プログラムの構成 2
3. 学習プログラムの申し込み方法 15
4. プログラム事例 16
   - **a. ツアー** 16
   - **b. ワーク** 54
   - **c. スタディ** 62
5. 学習プログラム事例一覧 64
6. 学習ツールを利用した学習 67

巻末……申込書



1.　はじめに

動物園には「種の保存」、「教育・環境教育」、「調査・研究」、「レクリエーション」という４つの役割があります。

「教育・環境教育」に関して言うと、動物園では、本や映像からでは得ることのできない、生きもののにおいや鳴き声・大きさ等を実際に体験し、知的好奇心を満足させながら自然への関心を高めるとともに、動物の生態を理解してもらい、野生生物と人間との関わりや生命の大切さを学ぶことができます。

そこで、熊本市動植物園では、来園者の動物や自然への興味・関心に応えるため生きものの展示やガイドをするだけでなく、学習プログラムを企画し実施することにより、より正しい知識を深めてもらうことを目指しています。

また、令和２年３月に定めた熊本市動植物園マスタープランにおいては、種の保存や調査・研究に関する活動を今まで以上に推進するとともに、これまでの学習プログラムの内容を体系的に見直し、各年齢層に応じた魅力的なプログラムの開発・実施に取り組むこととしています。

本冊子は上記を踏まえ、保育園、幼稚園、小・中・高等学校だけでなく、子ども会他、教育関係団体の皆様へ向けて作成した環境教育のための学習プログラム集です。

2.　学習プログラムの構成

熊本市動植物園の学習プログラムは下図のように、【Ⅰ学ぶ方法】、【Ⅱ学ぶ材料】、【Ⅲ学び】の３つのステップから構成されます。各ステップには様々なパーツが存在します。熊本市動植物園の学習プログラムの特徴は各ステップの中からお好みのパーツを選択し、それらを組み合わせて受講者が望む学習プログラムをカスタマイズできるということです。（各ステップとパーツについては４ページから１３ページに記載しています。）

動植物園の担当者と学習プログラムの受講を希望する団体が事前に打ち合わせを行い、受講者の年齢層や動植物園で何をして何を学びたいのかといったヒアリングを経て、ただ動物を見て楽しむだけでなく、より深く学べるよう、受講者が望む学習プログラムにカスタマイズしていきます。

Ⅰ　学ぶ方法

a.ツアー

①飼育員や獣医師のお話やガイドを聞く

②飼育員や獣医師のお仕事を見る

③バックヤードツアーで動物や施設を観察する

④動物やエサ、排泄物、行動を観察する

b.ワーク

①飼育体験

②動物とのふれあい体験

③工作、図鑑作成、スケッチ等

c.スタディ

Ⅱ　学ぶ材料

a.動物

b.標本

c.ツノ

d.エサ

e.うんこ

f.施設

g.写真･映像

h.江津湖

i.その他

Ⅲ　学び

a.飼育員の仕事

b.獣医師の仕事

c.動物園の役割

d.絶滅危惧種

e.生物多様性

f.外来生物対策

g.動物の体

h.動物の生態

i.動物愛護

j.江津湖と動植物園

k.家畜とヒト

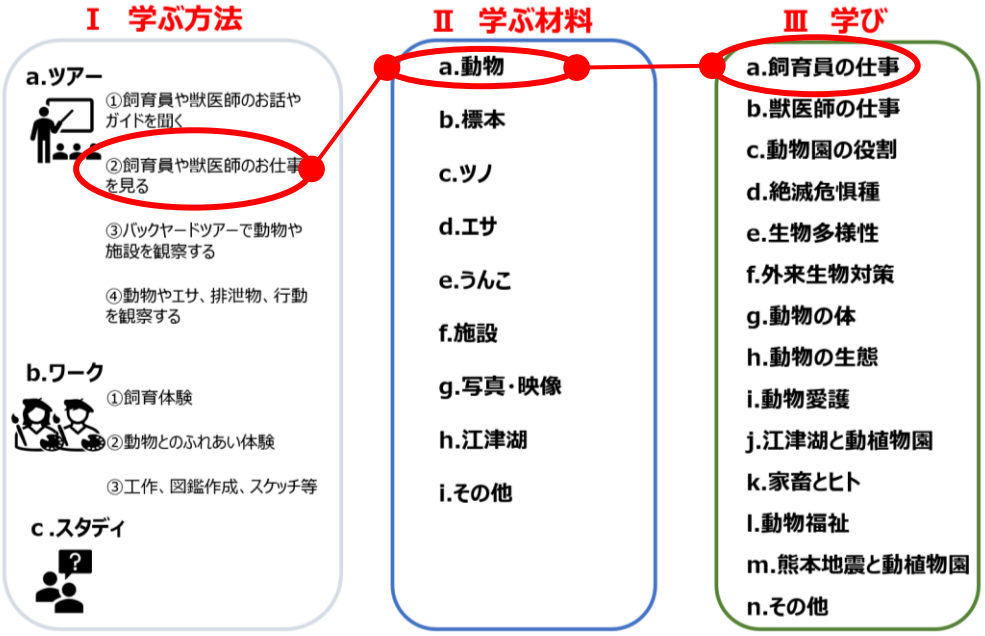
l.動物福祉

m.熊本地震と動植物園

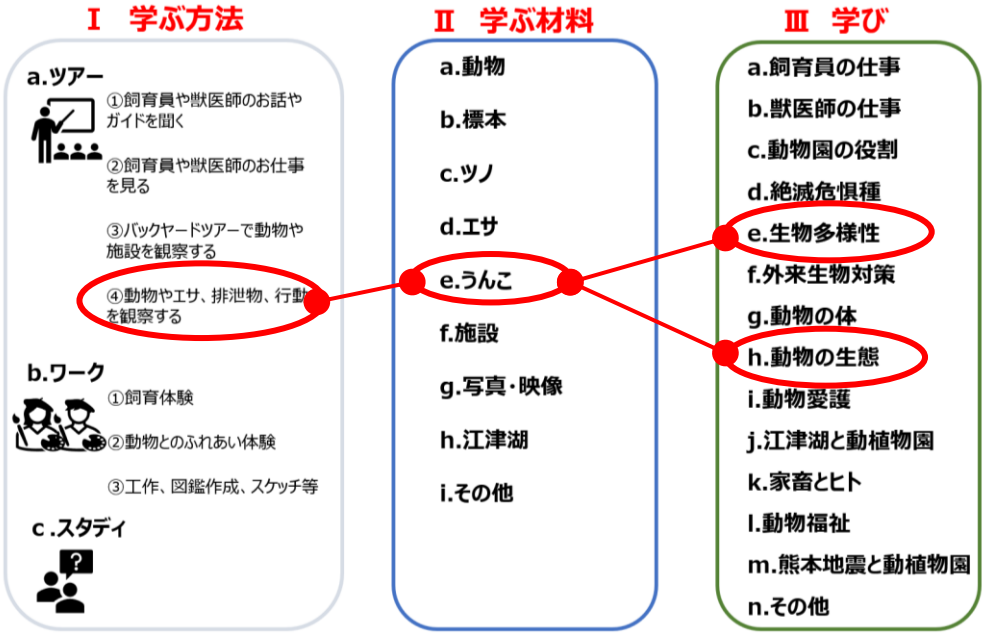
n.その他

具体的には、『Ⅰ学ぶ方法』、『Ⅱ学ぶ材料』、『Ⅲ学び』の各ステップの中からパーツを選択し組み合わせ学習プログラムを完成します。例えば、“「Ⅰ-a②飼育員や獣医師のお仕事を見る」という方法で、「Ⅱ-a 動物」を材料に、「Ⅲ-a 飼育員の仕事」を学ぶ”といったプログラム（下図プログラム構成例①）にしたり、“「Ⅰ-a④動物やエサ、排泄物、行動を観察する」という方法で、「Ⅱ-e うんこ」を材料に「Ⅲ-e 生物多様性」と「Ⅲ-h 動物の生態」の両方を学ぶ”といったプログラム（下図プログラム構成例②）にすることも可能です。

プログラムの構成例①



プログラムの構成例②



なお、既にこれらを組み合わせた事例を４．プログラム事例（１６ページから６３ページ）に示しておりますので、そちらからプログラムを選択することもできます。

以下に【Ⅰ学ぶ方法】【Ⅱ学ぶ材料】【Ⅲ学び】の各ステップの中のパーツについて説明します。

Ⅰ　学ぶ方法

「Ⅰ学ぶ方法」のパーツは大きく**「a ツアー」「b ワーク」「c スタディ」**の３つに分かれ、「a ツアー」「b ワーク」はさらに細かいパーツがあります。

a　ツアー

主に飼育員や獣医師のお話やガイドを聞いたりお仕事を見学したり、バックヤードツアーでの動物や施設の観察、あるいは、エサ、排泄物、行動を観察します。

①　飼育員や獣医師のお話やガイドを聞く

飼育員や獣医師の普段の仕事のお話の他、動物の解説や動植物園での取り組み等についてのお話を聞きます。飼育員や獣医師が学校や施設に出向いてお話しすること（出張授業）も可能です。

②　飼育員や獣医師のお仕事を見る

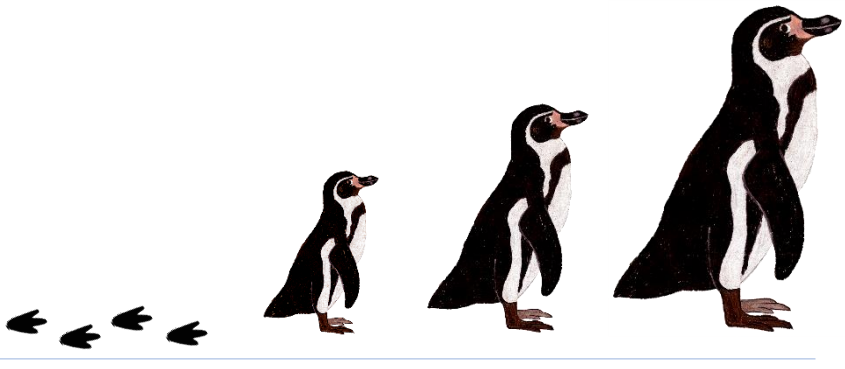
飼育員や獣医師が普段どんなお仕事をしているのか近くで見学します。

③　バックヤードツアーで動物や施設を観察する

バックヤードに入り、普段では見ることのできない動物や施設を間近で観察します。

④　動物やエサ、排泄物、行動を観察する

動物の体のつくりや、エサ、うんこなどの排泄物を観察します。また、動物がどのようにエサを食べたり、走ったり泳いだり遊んだりするかといった行動や能力を観察します。



b　ワーク

エサの用意や、お部屋のお掃除などの飼育体験、ふれあい体験、工作、図鑑作成、スケッチ等、体験しながら学びます。

①　飼育体験

動物の食べるエサを飼育員と一緒に作ったり、フィーダー（動物が工夫しないとエサを食べれないようにした給餌器）にエサを詰めたり、野菜や果物を付けた木を与えて動物たちに喜んでもらったり、お部屋の掃除といった飼育体験をします。また、動物の健康診断等、獣医師の仕事を体験します（原則、動物に直接ふれることはありません）。

②　動物とのふれあい体験

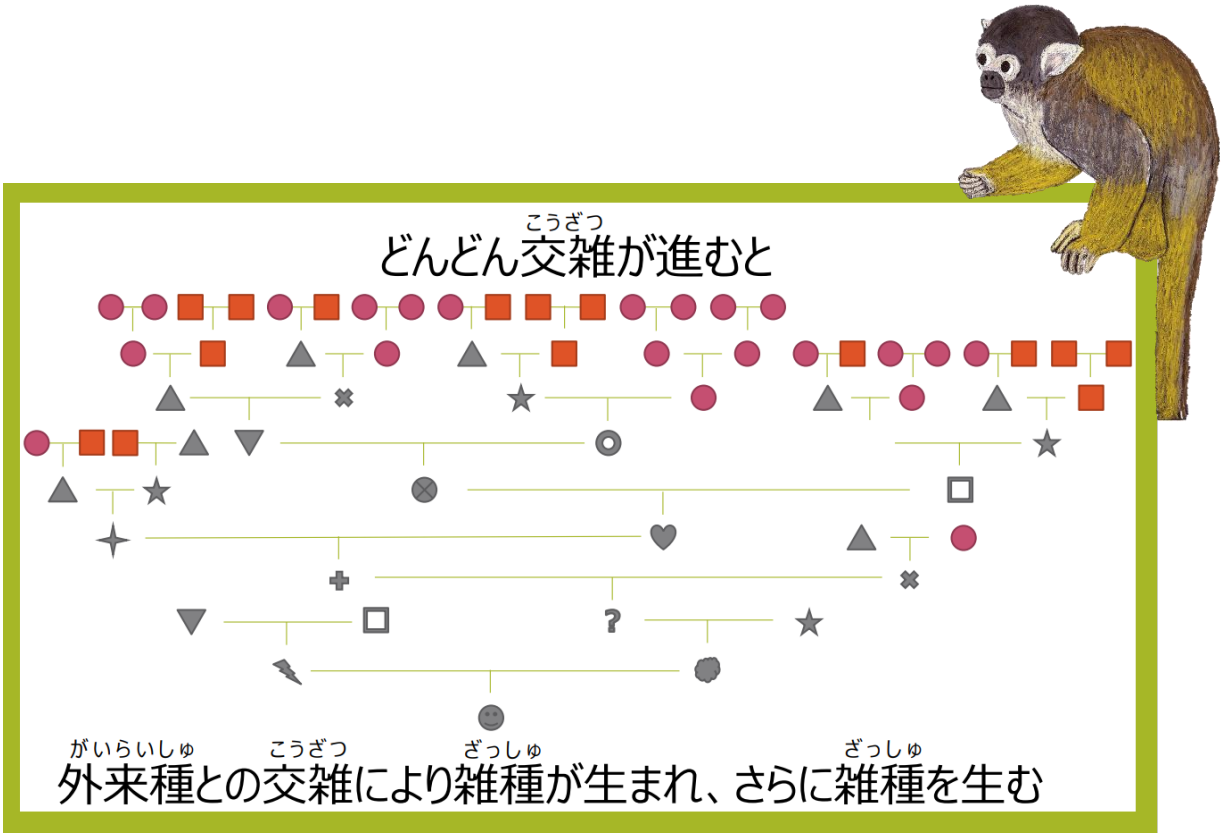
動物とふれあい、直接肌で動物を感じることで、動物について学びます。

③　工作、図鑑作成、スケッチ等

事前に刈り取ったヒツジの毛を用いた毛糸紡ぎ体験や、動植物園で断角したシカのツノを用いたアクセサリー作り、ゾウのふんを用いたハガキ作りなどをします。また、動物を観察しながらスケッチしたり、自分のオリジナルの図鑑を作成します。

c　スタディ

これまでの「a ツアー」、「b ワーク」よりも、さらに強い目的意識をもって、より深く学びます。動物や動物を取り巻く環境について深く考えたり、与えられた課題に対して自分たちに何ができるか、どうすればよいかを考えます。また、自ら調べてみるなど、積極的に能動的に学びます。



Ⅱ　学ぶ材料

熊本市動植物園で学ぶにあたり、生きた動物で学ぶことは当然のこと、それ以外のものを材料にしても学ぶことができます。たとえば、生きた動物からとれた毛やツノ、動物のエサやうんこなどの排泄物、死んだ動物からとれた剥製や骨格標本などからも学ぶことができます。

他にも、動物たちの展示場に置かれている物、これまで飼育員が撮影した写真や映像、熊本市動植物園から望める江津湖からも、いろいろなものを材料にして学ぶことができます。

Ⅲ　学び

「Ⅰ学ぶ方法」と「Ⅱ学ぶ材料」のステップを通して最終的に“何を学ぶのか”へつなげていきます。

例えば、同じ「Ⅰ-a①飼育員や獣医師のお話やガイドを聞く」という方法で、「Ⅱ-a 動物」を材料に学ぶにしても、最終的に「Ⅲ-a 飼育員の仕事」を学ぶのか、「Ⅲ-h 動物の生態」について学ぶのか等、学びを様々に発展させていくことができます。

「Ⅲ学び」のパーツは次に示すとおりで、熊本市動植物園では色々なことを学ぶことができます。

a　飼育員の仕事

飼育員が普段どんなことをしているのか、どんなことに注意気配りしているのか、飼育員の担う役割について学びます。

b　獣医師の仕事

獣医師とは動物のお医者さんのことです。動物園の獣医師の仕事は、街の動物病院の獣医師とは少し違います。ペットである犬や猫とは違って、野生動物ならではの苦労や注意点があります。

c　動物園の役割

動物園の役割は、珍しい生きものを展示することだけではありません。絶滅が心配される動物を守る取り組みや、自然環境のことを知ってもらう取り組みをしています。動物園がどのような役割を担っているのかを学びます。

d　絶滅危惧種

絶滅危惧種についての正しい知識や動物が直面している厳しい現実を知るとともに、絶滅危惧種を守っていくために、どうすればよいかを考えます。また、熊本市動植物園の取り組みについて学びます。

e　生物多様性

生物多様性とは生きものたちの豊かな個性とつながりのことです。この地球上に存在する生命の一つひとつに個性があり、全て直接的、間接的に支えあって生きています。生物多様性を学ぶとともに、生物多様性の保全のために熊本市動植物園が取り組んでいることについて学ぶことができます。

f　外来生物対策

外来生物とは、もともといなかった地域に人間により連れてこられた生きもののことです。豊かな環境の熊本市動植物園にも外来生物が生息しています。外来生物についての正しい知識や生態系に与える影響、外来生物の取り扱い等について学びます。

g　動物の体

動物の目や耳、口、歯、骨などの体のつくりや機能を学ぶ他、なぜそのような機能が備わっているのかについて学ぶことができます。

h　動物の生態

動物が自然界でどのような生活をしているのか、今、動物たちはどのような現状に直面しているのかを学ぶことができます。

ｉ　動物愛護（動物は命あるもの）

動物とのふれあい等を通して、生きものの命に対して尊厳を持ってもらい、動物愛護の普及を行います。

ｊ　江津湖と動植物園

熊本市動植物園は江津湖の環境を活かした豊かな水辺動植物園であり、飼育されている動物たちは江津湖の恩恵を受けています。どのような恩恵を受けているのか、江津湖とはどのような場所なのかを学ぶことができます。

ｋ　家畜とヒト

家畜ってなに？　家畜とヒトはどのようなつながりがあるのか？　以外と知らない家畜のことを学びます。また、熊本の伝統的な鶏である、天草大王や肥後ちゃぼなどの肥後五鶏のことも学ぶことができます。

ｌ　動物福祉

動物福祉とは、動物が肉体的にも精神的にも健康であることです。動物たちが健康で幸せに暮らせるために、熊本市動植物園がどんな工夫をしているのかを学びます。

m　熊本地震と動植物園

熊本地震でどんな被害があったのか、その時の動物の様子、復旧、全面開園までの取り組みについて学ぶことができます。

n　その他

a～m にない項目や受講者が希望することについては、別途相談に応じます。

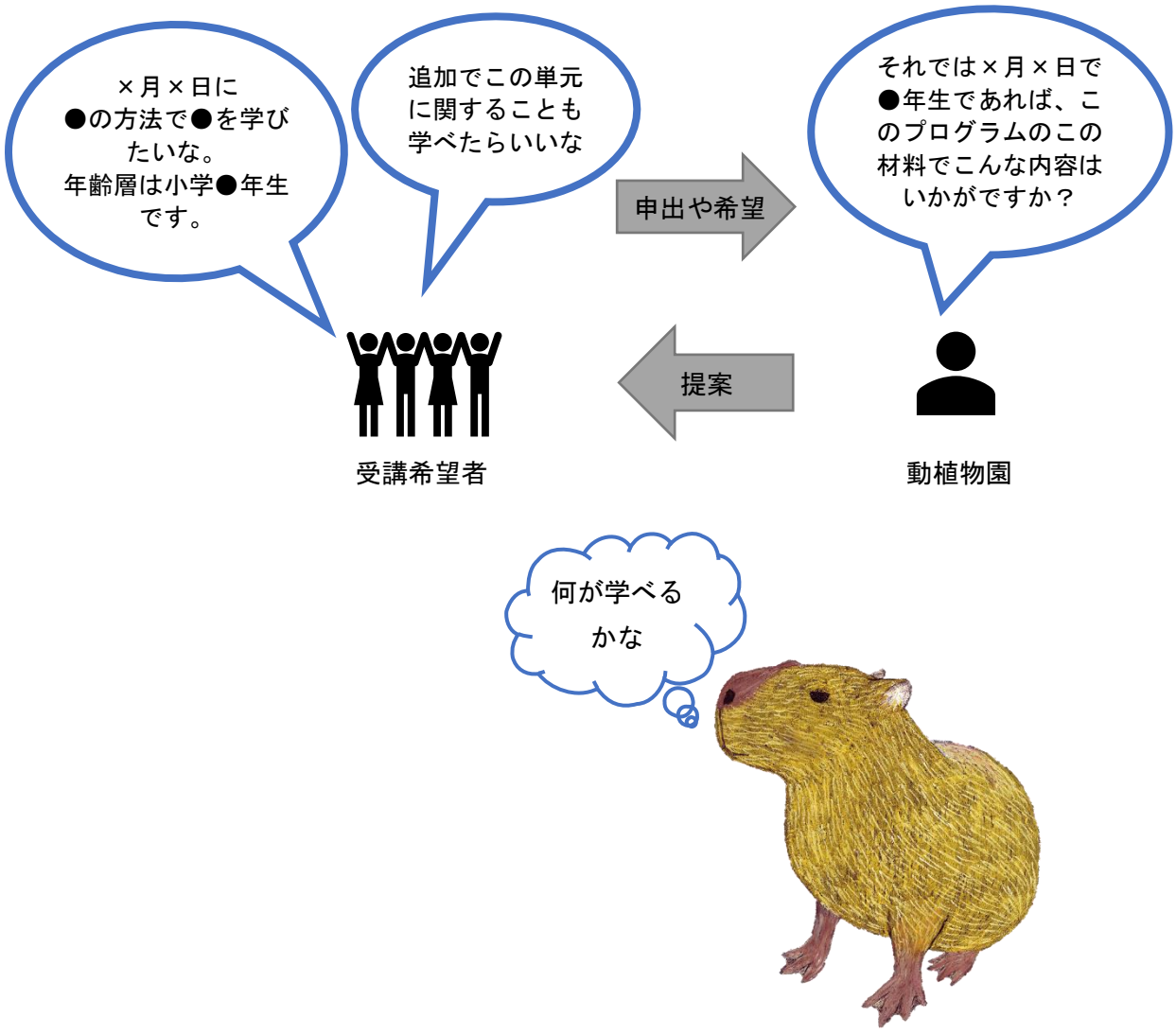
【Ⅰ学ぶ方法】、【Ⅱ学ぶ材料】、【Ⅲ学び】の各パーツを具体的に組み合わせた、代表的なプログラム事例を１６ページから６３ページに掲載しています。このプログラム事例から希望のコースを選択することもできますし、プログラム事例以外にも、ご希望に応じてプログラムをカスタマイズして作ることも可能です。

例えば、『×月×日の校外学習で、「Ⅰ-b①飼育体験」という方法で、「Ⅲ-a 飼育員の仕事」を学びたい』というご希望でしたら、動植物園がご希望に沿って参加者の年齢等を加味しながら、プログラムをカスタマイズしていきます。

また、『×月×日に「Ⅲ-e 生物多様性」について学びたいが、どのようなプログラムが可能か』といったお申し出の場合も、打ち合わせ・ヒアリングを経てプログラムを作成していくことが可能です。

さらに、同じ組み合わせや同じプログラムでも、参加者の年齢等により難易度を変更することも可能です。また、内容によっては動植物園の職員が学校や施設を訪問して出張授業を行うことも可能です。

ただし、『×月×日に、ゾウにエサやり体験をしたい』といった特定の動物に対する特定のご要望についてはお断りする場合がございます。



3.　学習プログラムの申し込み方法

お申し込みからプログラム実施までのフローを以下に示します。

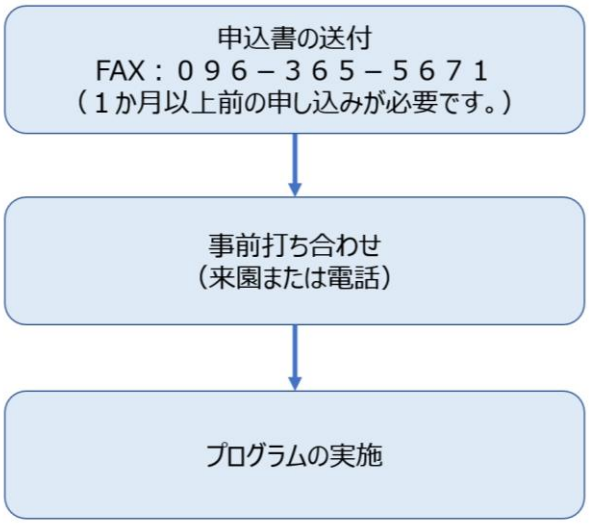
学習プログラムを受講するためには、**１か月以上前**の申し込みが必要です。お申し込みが遅い場合や、他の団体と受講希望日が重なった場合、動植物園のイベントと重なった場合は、ご希望の日時に実施できない場合がございますのでご注意ください。受講をご希望の場合は、巻末に掲載しています学習プログラム申込書に必要事項を記載の上、FAX にて送付ください。学習プログラム申込書は熊本市動植物園ホームページにも掲載しています。

お申し込みの後、事前の打ち合わせを経て、学習プログラム実施となりますが、お申し込みの際、日時、人数、年齢層の他、受講目的や学習単元などを合わせてお伝えいただくと、事前の打ち合わせがスムーズになります。

プログラムの中には人数制限があるものも含まれます。対応人数を超える場合は午前の部・午後の部と複数回に分けて実施することが可能なプログラムもありますので、事前打ち合わせの際にご相談ください。

また、詳細な事前打ち合わせが必要ないプログラムもご用意しています。

なお、学習プログラムは、動物や施設の状態、天候等の理由で、直前に変更が生じることや、中止となる場合があることをご了承ください。



お申し込みが遅い場合や、他の団体と受講希望日が重なった場合、動植物園のイベントと重なった場合は、ご希望の日時に実施できない場合がございます。

申し込みから実施までのフロー

4.　プログラム事例

ここでは、２.学習プログラムの構成（２ページから１４ページ）でお示しした、【Ⅰ学ぶ方法】、【Ⅱ学ぶ材料】、【Ⅲ学び】の各パーツを組み合わせてできる、代表的なプログラム事例を紹介します。

ガイド

a. ツアー

コース名	1. 生きものガイド
内容	熊本市動植物園では日替わりで、飼育員による生きものガイドを実施しています。動物についてわかりやすく解説したり、観察ポイントや日々飼育している飼育員だからこそ知っている面白い話を聞くことができます。 ガイドを聞いて動物について詳しくなろう。
対象	誰でも
所要時間	10 分程度
対応人数	制限なし
Ⅰ学ぶ方法	a. ツアー ①飼育員や獣医師のお話やガイドを聞く
Ⅱ学ぶ材料	a. 動物
Ⅲ学び	h. 動物の生態
関連する学習単元	―
備考	このプログラムについては、**事前申し込みは不要**です。 生きものガイドのスケジュールは熊本市動植物園ホームページで公開されています。スケジュールをご確認の上、ご参加ください。

申し込み不要！！

コース名	2. キートーク～動物の赤ちゃん～
内容	動植物園では様々な動物の赤ちゃんが生まれます。 そんな動植物園で生まれた赤ちゃんの写真や映像を交えてお話します。 お母さんがどのように子育てをするのか、赤ちゃんがどのように成長していくのか、さらに動植物園が赤ちゃん達にどのようなサポートをしているのか等を学ぶ講習会です。
対象	誰でも
所要時間	30 分程度
対応人数	130 名まで
Ⅰ学ぶ方法	a. ツアー ①飼育員や獣医師のお話やガイドを聞く
Ⅱ学ぶ材料	a. 動物 g. 写真・映像
Ⅲ学び	c. 動物園の役割 h. 動物の生態
関連する学習単元	・いきものと　なかよし（小 1・生活） ・生きもの　なかよし　大作せん（小 2・生活） ・しぜんのかんさつ（小 3・理科） ・生命のつながり（小 5・理科）
備考	原則、平日の午前 11 時または午後 1 時からのスタートとなります。

コース名	3. キートーク～動物園の裏側～
内容	動物園の裏側がどうなっているか興味がありますよね？ 普段見ることはできない、動物園の裏側、飼育員や獣医師の仕事等の様子を写真や映像を交えて話す講習会になります。
対象	誰でも
所要時間	30 分程度
対応人数	130 名まで
Ⅰ学ぶ方法	a. ツアー ①飼育員や獣医師のお話やガイドを聞く
Ⅱ学ぶ材料	a. 動物 g. 写真・映像
Ⅲ学び	a. 飼育員の仕事 b. 獣医師の仕事 c. 動物園の役割
関連する学習単元	・いきものと　なかよし（小 1・生活） ・生きもの　なかよし　大作せん（小 2・生活） ・しぜんのかんさつ（小 3・理科）
備考	原則、平日の午前 11 時または午後 1 時からのスタートとなります。

コース名	4. 熊本地震を乗り越えて
内容	平成 28 年（2016 年）4 月 14 日と 4 月 16 日に熊本を最大震度 7 の大地震が襲いました。動植物園も被害を受け、10 か月間の休園を余儀なくされました。 その時、動植物園はどのような様子だったのか？ 動物たちは？　飼育員は？ 職員がパネルや震災当時の写真を使いながら紹介します。また、復興後の変化した園内を見て回ります。
対象	誰でも
所要時間	1 時間程度
対応人数	30 名まで
Ⅰ学ぶ方法	a. ツアー ①飼育員や獣医師のお話やガイドを聞く
Ⅱ学ぶ材料	a. 動物 f. 施設 i. その他
Ⅲ学び	m. 熊本地震と動植物園
関連する学習単元	・くらしを守る（小 3・社会） ・自然災害からくらしを守る（小 4・社会） ・わたしたちの生活と環境（小 5・社会）
備考	

職員の努力と関係団体の協力、皆様の応援、動物たちの生命力で今の姿まで戻りました。

コース名	5. ゾウのエリー
内容	太平洋戦争中、日本各地の動物園でライオンやクマなどの猛獣が処分されました。理由は「空爆でオリが破壊された場合に、猛獣類が脱出して人を襲うのを防ぐため」です。 熊本市動植物園でも処分が行われました。その中にゾウのエリーがいました。エリーの頭の骨の一部は動植物園で現在も展示されています。 戦争が動物たちにもたらした悲劇を知ってください。
対象	誰でも
所要時間	45 分程度
対応人数	30 名まで
Ⅰ学ぶ方法	a. ツアー ①飼育員や獣医師のお話やガイドを聞く ④動物やエサ、排泄物、行動を観察する
Ⅱ学ぶ材料	a. 動物（ゾウ） b. 標本 g. 写真・映像
Ⅲ学び	i. 動物愛護 n. その他（歴史）
関連する学習単元	・日本の歴史（小 6・社会）
備考	

動物たちにも戦争の影響がありました…

コース名	6. 江津湖の湧水と動植物園
内容	江津湖では毎日たくさんの水が湧き出しています。動植物園はそんな江津湖のほとりに位置しており、江津湖から様々な恵みを得ています。 動画を見たり、飼育員の話を聞いたりして、江津湖の湧水が動物たちにどのような恵みをもたらしているのかを学ぶ講習会になります。
対象	誰でも
所要時間	45 分程度
対応人数	130 名まで（出張授業の場合はこの限りでない）
Ⅰ学ぶ方法	a. ツアー ①飼育員や獣医師のお話やガイドを聞く
Ⅱ学ぶ材料	g. 写真・映像 h. 江津湖
Ⅲ学び	j. 江津湖と動植物園
関連する学習単元	・生物と地球環境（小 6・理科） ・生物の種類の多様性と進化（中 3・理科） ・生物と環境（中 3・理科） ・自然環境の保全と科学技術の利用（中 3・理科）
備考	出張授業もできます。

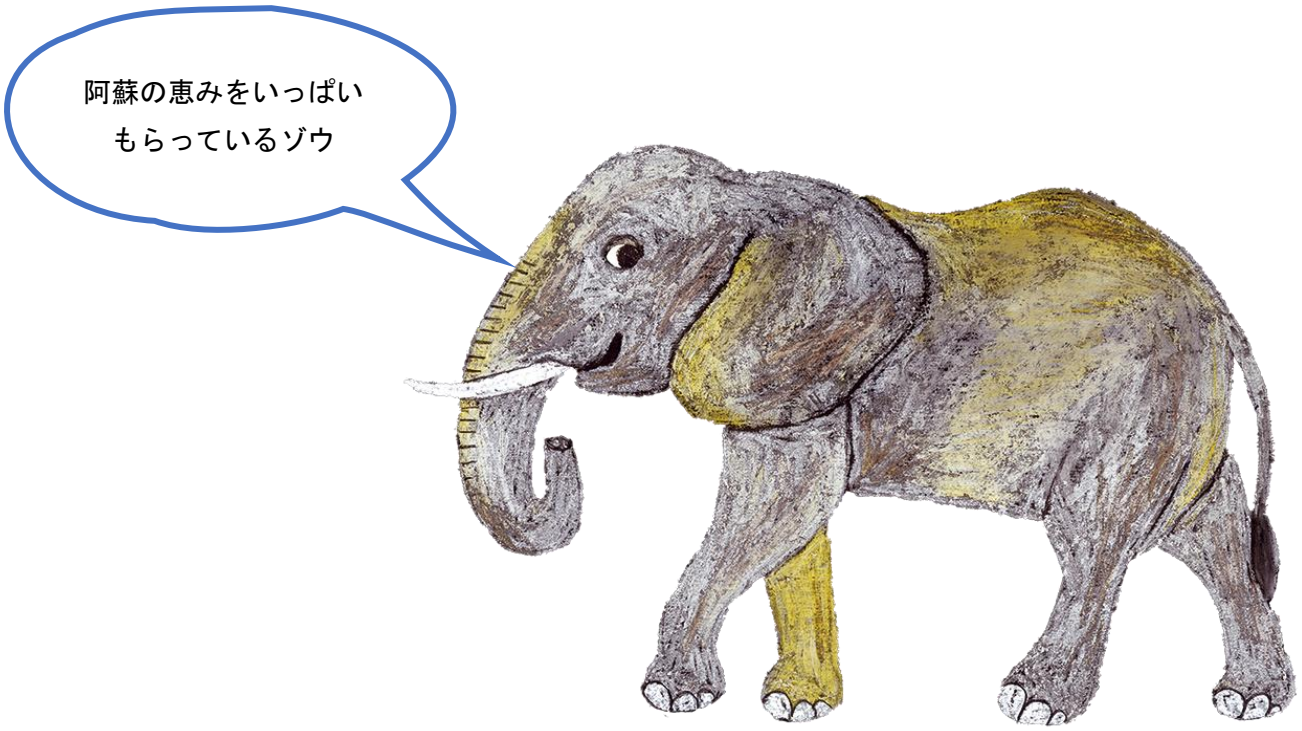
他の県にはない、熊本ならではの自然の恵み！

コース名	7. 季節と動物
内容	春、夏、秋、冬。季節によって動物たちは行動が変わったり、体を変化させたりします。 また、飼育員は季節に応じて動物の管理方法を変えています。 パネルや映像を使って飼育員がそれぞれの季節の動物たちの様子をお話します。
対象	誰でも
所要時間	45 分程度
対応人数	30 名まで
Ⅰ学ぶ方法	a. ツアー ①飼育員や獣医師のお話やガイドを聞く
Ⅱ学ぶ材料	a. 動物
Ⅲ学び	h. 動物の生態
関連する学習単元	・季節と生物（小 4・理科）
備考	

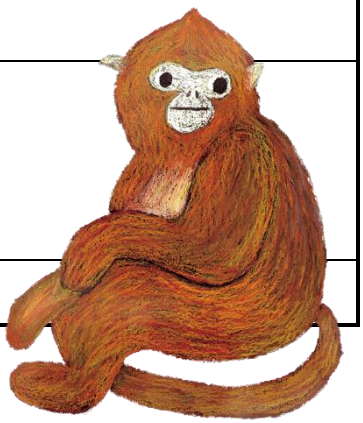
コース名	8. 動植物園で絵本の読み聞かせ
内容	いきもの学習センターには動物たちを題材にした絵本がいっぱいあります。 動植物園という特別な場所で、飼育員による朗読を聞いてみませんか？
対象	誰でも
所要時間	20 分程度
対応人数	30 名まで
Ⅰ学ぶ方法	a. ツアー ①飼育員や獣医師のお話やガイドを聞く
Ⅱ学ぶ材料	i. その他（絵本）
Ⅲ学び	n. その他
関連する学習単元	―
備考	

コース名	9. 熊本の伝統鶏　肥後五鶏
内容	肥後五鶏とは「天草大王」「熊本種」「地すり」「久連子鶏」「肥後ちゃぼ」の五種類の熊本の伝統的な地鶏の総称です。 これらは、肉用や採卵用、闘鶏用、民族芸能用、愛玩用として、長い年月をかけて人の手により作られたものです。 その伝統について勉強しましょう。
対象	誰でも
所要時間	30 分程度
対応人数	30 名まで
Ⅰ学ぶ方法	a. ツアー ①飼育員や獣医師のお話やガイドを聞く
Ⅱ学ぶ材料	a. 動物（肥後五鶏）
Ⅲ学び	k. 家畜とヒト
関連する学習単元	・きょう土の伝統・文化と先人たち（小 4・社会）
備考	鳥インフルエンザの防疫措置のため中止となる場合があります。

コース名	10. 阿蘇と動植物園
内容	熊本市動植物園から 20 ㎞以上も離れている阿蘇。実は動植物園の動物たちは阿蘇の恵みをいっぱい受けて生活しています。 その恵みとは、動物たちが生きるために欠かすことのできない飲み水やエサです。 阿蘇と動植物園のつながりを勉強して、熊本の魅力を再発見しよう。
対象	誰でも
所要時間	45 分程度
対応人数	30 名まで（出張授業の場合はこの限りでない）
Ⅰ学ぶ方法	a. ツアー ①飼育員や獣医師のお話やガイドを聞く
Ⅱ学ぶ材料	d. エサ g. 写真・映像 i. その他
Ⅲ学び	e. 生物多様性 j. 江津湖と動植物園（阿蘇）
関連する学習単元	・わたしたちの県（小 4・社会） ・私たちの生活と環境（小 5・社会） ・生物と地球環境（小 6・理科）
備考	出張授業もできます。

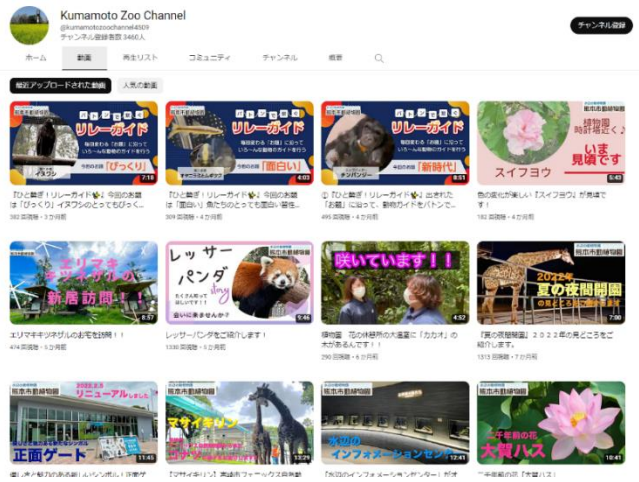


コース名	11. 動物園の役割と SDGs
内容	動物園と SDGs はとっても深い関係があります。 例えば動物の赤ちゃんが生まれることは『目標 15　陸の豊かさも守ろう』とつながっています。その他の様々な取り組みも他の目標たちとつながっています。 どんな取り組みがどの目標とつながっているか考えてみましょう。
対象	誰でも
所要時間	45 分程度
対応人数	30 名まで（出張授業の場合はこの限りでない）
Ⅰ学ぶ方法	a. ツアー ①飼育員や獣医師のお話やガイドを聞く
Ⅱ学ぶ材料	a. 動物 i. その他
Ⅲ学び	c. 動物園の役割 e. 生物多様性 n. その他（SDGs）
関連する学習単元	・生物と地球環境（小 6・理科） ・生物の種類の多様性と進化（中 3・理科） ・生物と環境（中 3・理科） ・自然環境の保全と科学技術の利用（中 3・理科）
備考	出張授業もできます。



どんな目標がある
か知ってるかな？

コース名	12. YouTube で予習、動植物園で質問
内容	熊本市動植物園には公式の YouTube チャンネルがあります。その名も『Kumamoto Zoo Channel（クマモト　ズー　チャンネル）』。とても楽しい YouTube です。ただ楽しむだけではなく、生きもののことも勉強できます。 Kumanoto Zoo Channnel を見た後は、『何を食べているの？』『なぜこんな体をしているの？』などもっと動物のことを知りたくなるはずです。 さぁ、そんな疑問をもって動植物園に行って飼育員に質問してみよう！
対象	誰でも
所要時間	45 分程度
対応人数	30 名まで
Ⅰ学ぶ方法	a. ツアー ①飼育員や獣医師のお話やガイドを聞く
Ⅱ学ぶ材料	a. 動物 g. 写真・映像 i. その他（飼育員）
Ⅲ学び	a. 飼育員の仕事 b. 獣医師の仕事 c. 動物園の役割 e. 生物多様性 h. 動物の生態
関連する学習単元	・いきものと　なかよし（小１・生活） ・生きもの　なかよし　大作せん（小２・生活） ・しぜんのかんさつ（小３・理科） ・生物と地球環境（小６・理科）
備考	

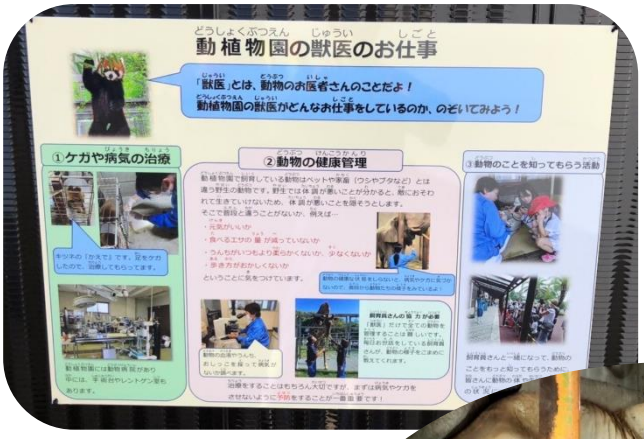


コース名	13. キャリア教育 ～飼育員・獣医師として動物園ではたらくために～
内容	動物園ではたらく飼育員や獣医師は、どのようにして飼育員・獣医師になったのでしょうか？ いつから飼育員・獣医師になりたかったのか？ やっぱり、動物が好きで、この仕事をえらんだのか？ 動物園ではたらくという夢をかなえて、今、どのような気持ちではたらいているのでしょうか？ 飼育員や獣医師がお話しする講習会になります。
対象	誰でも
所要時間	45 分程度
対応人数	130 名まで（出張授業の場合はこの限りでない）
Ⅰ学ぶ方法	a. ツアー ①飼育員や獣医師のお話やガイドを聞く
Ⅱ学ぶ材料	i. その他（飼育員、獣医師）
Ⅲ学び	n. その他（キャリア教育）
関連する学習単元	・キャリア教育
備考	出張授業もできます。

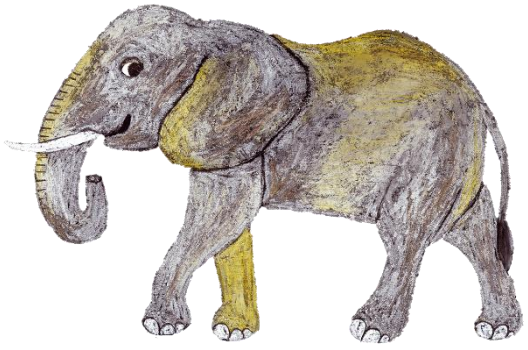
コース名	14. どうして動物園にいるのかな？～保護された動物たち～
内容	熊本市動植物園には、特別な事情で保護されている動物がいます。 その中には、人間にペットとして飼われていたと思われる動物もいます。 どのような事情があったのか？ 保護されている動物たちを観察して、飼育員と一緒に考えます。
対象	誰でも
所要時間	30 分程度
対応人数	30 名まで
Ⅰ学ぶ方法	a. ツアー ①飼育員や獣医師のお話やガイドを聞く ④動物やエサ、排泄物、行動を観察する
Ⅱ学ぶ材料	a. 動物
Ⅲ学び	i. 動物愛護
関連する学習単元	・自然愛護（小学校　中学校　道徳）
備考	

コース名	15. 動物園の飼育員さん
内容	動物園の飼育員はどんな仕事をしているのでしょうか？ 動物にエサをあげたり、動物たちのお部屋を掃除したりといった動物のお世話をしますが、それだけではありません。動物たちが幸福に暮らせるように色々なことをしています。 どんなことをしているのか、飼育員がお話します。
対象	誰でも
所要時間	45 分程度
対応人数	30 名まで（出張授業の場合はこの限りでない）
Ⅰ学ぶ方法	a. ツアー ①飼育員や獣医師のお話やガイドを聞く
Ⅱ学ぶ材料	a. 動物 i. その他（飼育員）
Ⅲ学び	a. 飼育員の仕事 c. 動物園の役割 1. 動物福祉
関連する学習単元	・はたらく人とわたしたちのくらし（小 3・社会）
備考	出張授業もできます。

コース名	16. 動物園の獣医さん
内容	獣医師とは動物のお医者さんのことです。動物園の獣医師の仕事は、街の動物病院の獣医師とは少し違います。ペットである犬や猫とは違って、野生動物ならではの苦労や注意点があります。 他にも動物の病気の治療以外のお仕事があります。 そんな獣医師が普段どんなお仕事をしているのかを学びます。
対象	誰でも
所要時間	45 分程度
対応人数	30 名まで（出張授業の場合はこの限りでない）
Ⅰ学ぶ方法	a. ツアー ①飼育員や獣医師のお話やガイドを聞く
Ⅱ学ぶ材料	a. 動物 i. その他（獣医師）
Ⅲ学び	b. 獣医師の仕事 c. 動物園の役割 1. 動物福祉
関連する学習単元	・はたらく人とわたしたちのくらし（小 3・社会）
備考	出張授業もできます。



コース名	17. アフリカゾウと飼育員と獣医師
内容	熊本市動植物園のアフリカゾウは、飼育員と獣医師と一緒に毎朝欠かさずトレーニングをしています。 何のために、トレーニングをしているのでしょうか？ その答えは『動物の幸福のためです』。 どうしてトレーニングが『動物の幸福のため』なのか、トレーニングの様子を観察しながら、飼育員や獣医師が解説します。
対象	誰でも
所要時間	30 分程度
対応人数	40 名まで
Ⅰ学ぶ方法	a. ツアー ①飼育員や獣医師のお話やガイドを聞く ②飼育員や獣医師のお仕事を見る ④動物やエサ、排泄物、行動を観察する
Ⅱ学ぶ材料	a. 動物（アフリカゾウ） i. その他（飼育員・獣医師）
Ⅲ学び	a. 飼育員の仕事 b. 獣医師の仕事 1. 動物福祉
関連する学習単元	・いきものと　なかよし（小 1・生活） ・生きもの　なかよし　大作せん（小 2・生活） ・しぜんのかんさつ（小 3・理科） ・はたらく人とわたしたちのくらし（小 3・社会） ・生物と地球環境（小 6・理科） ・自然愛護（小学校　中学校　道徳）
備考	ゾウのトレーニングは午前 9 時 20 分よりスタートします。 受講希望者は午前 9 時 15 分までにゾウの展示場にお集まりください。 ゾウの管理の状況によってはトレーニングの時間が変更になる場合があります。



コース名	18. 動物園の動物病院を見てみよう
内容	動物園の動物病院は、街の動物病院とは少し違います。 動物園の動物病院はどんなところなのか、どんな治療をしているのかを見て回ります。
対象	誰でも
所要時間	45 分程度
対応人数	20 名まで
Ⅰ学ぶ方法	a. ツアー ②飼育員や獣医師のお仕事を見る ③バックヤードツアーで動物や施設を観察する
Ⅱ学ぶ材料	a. 動物 f. 施設 i. その他（獣医師）
Ⅲ学び	b. 獣医師の仕事
関連する学習単元	・はたらく人とわたしたちのくらし（小 3・社会）
備考	

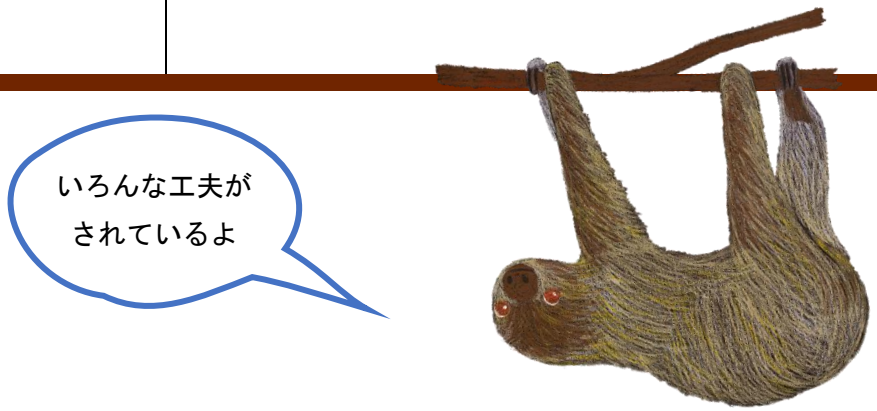
コース名	19. 動物園の裏側ツアー
内容	さまざまな動物のバックヤードに入り、普段見られない動物の寝室やエサの確認を通じて動物のことを知ろう！
対象	誰でも
所要時間	45 分程度
対応人数	20 名まで
Ⅰ学ぶ方法	a. ツアー ③バックヤードツアーで動物や施設を観察する
Ⅱ学ぶ材料	a. 動物
Ⅲ学び	a. 飼育員の仕事 h. 動物の生態
関連する学習単元	・いきものと　なかよし（小 1・生活） ・生きもの　なかよし　大作せん（小 2・生活） ・しぜんのかんさつ（小 3・理科）
備考	

いつもとは違うコースを歩こう

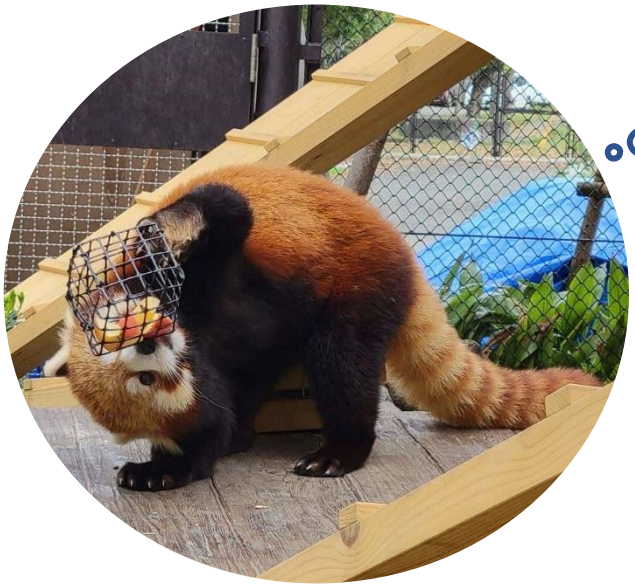
コース名	20. 熊本に生息する動物たち
内容	熊本市動植物園には世界各地の動物たちが飼育されていますが、その中には熊本に生息する動物たちもいます。キツネやタヌキ、アナグマなどです。熊本に生息する動物なのに、実際に見ることはあまりないですよね。これらの動物がどのような場所でどのように暮らしているのか、どんな特徴があるのか、飼育員の解説を聞きながら観察します。
対象	誰でも
所要時間	45 分程度
対応人数	30 名まで
Ⅰ学ぶ方法	a. ツアー ①飼育員や獣医師のお話やガイドを聞く ④動物やエサ、排泄物、行動を観察する
Ⅱ学ぶ材料	a. 動物（熊本に生息する動物）
Ⅲ学び	h. 動物の生態
関連する学習単元	・動物のすみか（小 3・理科） ・わたしたちの県（小 4・社会） ・わたしたちの生活と環境（小 5・社会）
備考	

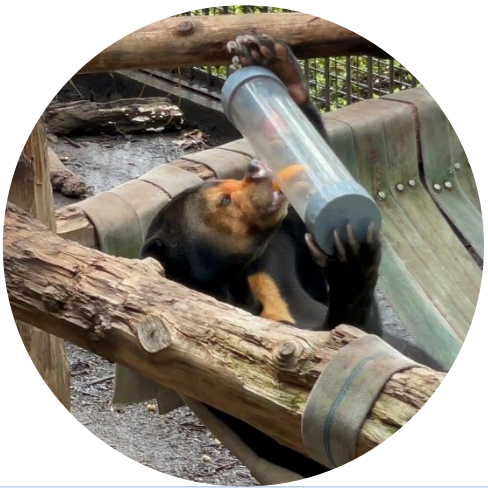
コース名	21. 教科書・絵本に出てくる動物たち
内容	教科書や絵本に登場するキツネ、タヌキ、クマなどの様々な動物たち。 皆さんはどのような印象を持っていますか？ 実際の動物たちはどのような生活をして、どのような性格なのでしょうか？ 実際に動植物園で動物たちを観察してみましょう。
対象	誰でも
所要時間	45 分程度
対応人数	30 名まで
Ⅰ学ぶ方法	a. ツアー ④動物やエサ、排泄物、行動を観察する
Ⅱ学ぶ材料	a. 動物
Ⅲ学び	h. 動物の生態
関連する学習単元	・いきものと　なかよし（小 1・生活） ・生きもの　なかよし　大作せん（小 2・生活） ・しぜんのかんさつ（小 3・理科） ・動物のすみか（小 3・理科）
備考	

コース名	22. 動物たちが幸福に暮らせるために
内容	皆さんは、学校に行ったり、友達と遊んだり、テレビを見たり、ゲームをしたり、色々なことをして毎日過ごしていると思います。 では、動物園の動物たちはどうでしょう？ 動物たちは限られたスペースでくらしています。 そんな動物たちが幸福に暮らせるために、どうすればよいか飼育員は考え、工夫しています。 飼育員が動物たちのためにしていることを、観察します。
対象	誰でも
所要時間	45 分程度
対応人数	30 名まで
Ⅰ学ぶ方法	a. ツアー ①飼育員や獣医師のお話やガイドを聞く ②飼育員や獣医師のお仕事を見る ③バックヤードツアーで動物や施設を観察する ④動物やエサ、排泄物、行動を観察する
Ⅱ学ぶ材料	a. 動物 f. 施設
Ⅲ学び	h. 動物の生態 l. 動物福祉
関連する学習単元	・生物と地球環境（小 6・理科） ・生物の種類の多様性と進化（中 3・理科） ・生物と環境（中 3・理科） ・自然環境の保全と科学技術の利用（中 3・理科）
備考	

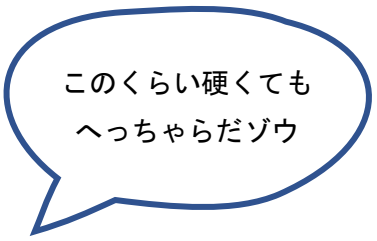


コース名	23. 動物たちのお食事観察
内容	動物たちには普通にエサを与える他、フィーダーといって、動物が工夫しないとエサを取り出すことができない給餌器に入れて与えることがあります。 動物たちが工夫しながらフィーダーからエサを食べる様子を観察したり、なぜフィーダーを利用するのかを飼育員が解説します。
対象	誰でも
所要時間	30 分程度
対応人数	30 名まで
Ⅰ学ぶ方法	a. ツアー ④動物やエサ、排泄物、行動を観察する
Ⅱ学ぶ材料	a. 動物 i. その他（フィーダー）
Ⅲ学び	h. 動物の生態 l. 動物福祉
関連する学習単元	・しぜんのかんさつ（小 3・理科） ・体のつくりと働き（小 6・理科） ・動物の体のつくりと働き（中 2・理科） ・自然環境の保全と科学技術の利用（中 3・理科） ・自然愛護（小学校　中学校　道徳）
備考	

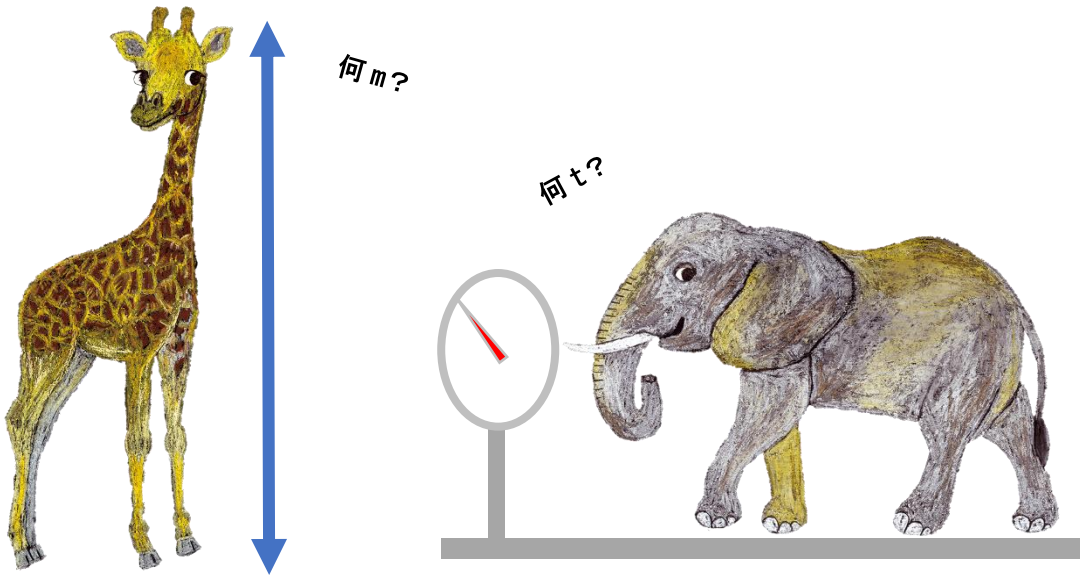




コース名	24. ゾウの竹採食
内容	ゾウの食事の様子を見たことがありますか？ ゾウは長い鼻を使って器用に食事をしますが、実は使うのは鼻だけではないのです。 3 メートルもある大きくて太い竹をゾウはどのように食べるのかを飼育員の解説付きで観察します。
対象	誰でも
所要時間	20 分程度
対応人数	180 名まで
Ⅰ学ぶ方法	a. ツアー ①飼育員や獣医師のお話やガイドを聞く ④動物やエサ、排泄物、行動を観察する
Ⅱ学ぶ材料	a. 動物（ゾウ）
Ⅲ学び	g. 動物の体
関連する学習単元	・いきものと　なかよし（小 1・生活） ・生きもの　なかよし　大作せん（小 2・生活） ・しぜんのかんさつ（小 3・理科）
備考	原則、平日の午前 10 時からのスタートとなります。



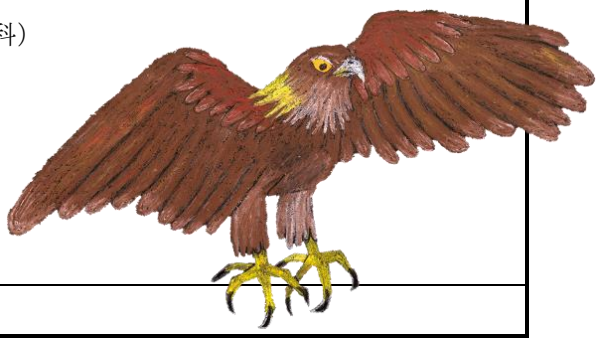
コース名	25. キリンの高さは何メートル？ゾウの重さは何トン？
内容	熊本市動植物園には色々な種類の動物たちがいます。 その大きさは、数センチメートルから 4 メートルを超える動物まで様々。その体重も、数グラムから数トンを超える動物まで様々。 このように、この地球上には小さい動物から大きい動物まで様々な大きさの動物たちがいます。 動物たちを目の当たりにして、その大きさを体感しながら、飼育員の話を聞いてみませんか。
対象	誰でも
所要時間	45 分程度
対応人数	30 名まで
Ⅰ学ぶ方法	a. ツアー ①飼育員や獣医師のお話やガイドを聞く ④動物やエサ、排泄物、行動を観察する
Ⅱ学ぶ材料	a. 動物
Ⅲ学び	g. 動物の体
関連する学習単元	・いきものと　なかよし（小 1・生活） ・生きもの　なかよし　大作せん（小 2・生活） ・長さの単位（小 2・算数） ・重さの単位（小 3・算数） ・しぜんのかんさつ（小 3・理科）
備考	



コース名	26. 絶滅危惧種
内容	トラ、ホッキョクグマ、クロサイなど動植物園には絶滅が心配されている動物たちが展示されています。 どうして、これらの動物は数が減っているのか？　それには私たち人間の存在が関係しているのです。 絶滅危惧種を間近で観察しながら、私たちはどうすればよいかを考えます。
対象	誰でも
所要時間	45 分程度
対応人数	30 名まで
Ⅰ学ぶ方法	a. ツアー ④動物やエサ、排泄物、行動を観察する
Ⅱ学ぶ材料	a. 動物（絶滅危惧種）
Ⅲ学び	c. 動物園の役割 d. 絶滅危惧種
関連する学習単元	・生物と地球環境（小 6・理科） ・生物の種類の多様性と進化（中 3・理科） ・生物と環境（中 3・理科） ・自然環境の保全と科学技術の利用（中 3・理科）
備考	

なかまが減っているんだ

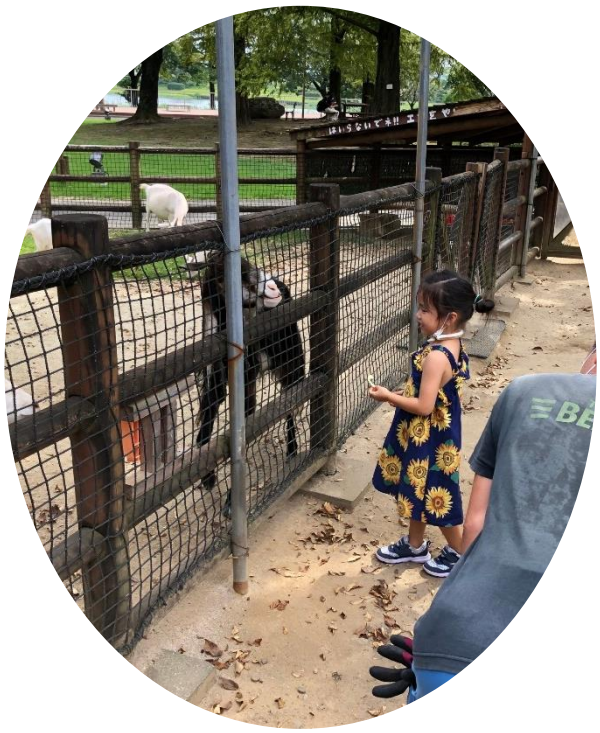
コース名	27. 日本の天然記念物・希少野生動物
内容	熊本市動植物園には天然記念物に指定されたタンチョウとイヌワシがいます。また、希少野生動植物種に指定されたサンショウウオの仲間もいます。 なぜ、このような貴重な動物たちを飼育しているのでしょうか？ タンチョウ、イヌワシ、サンショウウオを観察しながら考えます。
対象	誰でも
所要時間	45 分程度
対応人数	30 名まで
Ⅰ学ぶ方法	a. ツアー ④動物やエサ、排泄物、行動を観察する
Ⅱ学ぶ材料	a. 動物（天然記念物、希少野生動物）
Ⅲ学び	c. 動物園の役割 d. 絶滅危惧種 e. 生物多様性
関連する学習単元	・動物のすみか（小 3・理科） ・わたしたちの県（小 4・社会） ・私たちの生活と環境（小 5・社会） ・自然環境の保全と科学技術の利用（中 3・理科） ・生物の種類と多様性と進化（中 3・理科） ・生物と環境（中 3・理科）
備考	



コース名	28. 江津湖の外来種と在来種
内容	熊本市動植物園の水辺のインフォメーションセンターという施設では、江津湖に生息する希少な魚やそれを脅かす外来魚が展示されています。それらを観察し、外来生物がなぜ江津湖にいるのか、そしてそれらがもたらす影響を学びます。
対象	小学校高学年以上推奨
所要時間	45 分程度
対応人数	30 名まで
Ⅰ学ぶ方法	a. ツアー ④動物やエサ、排泄物、行動を観察する
Ⅱ学ぶ材料	a. 動物（江津湖に生息する魚）
Ⅲ学び	d. 絶滅危惧種 e. 生物多様性 f. 外来生物対策 j. 江津湖と動植物園
関連する学習単元	・生物の種類の多様性と進化（中 3・理科） ・生物と環境（中 3・理科） ・自然環境の保全と科学技術の利用（中 3・理科）
備考	

コース名	29. 世界のカブトムシとクワガタ
内容	いきもの学習センターには外国産のカブトムシやクワガタと日本産のカブトムシやクワガタが飼育されています。外国産と日本産との大きさ・形を比較し、すむ場所によって様々な固有種がいることを学びます。 また、飼育する時の注意点や、外国産と日本産との交雑種の問題についても勉強します。
対象	誰でも
所要時間	45 分程度
対応人数	30 名まで
Ⅰ学ぶ方法	a. ツアー ④動物やエサ、排泄物、行動を観察する
Ⅱ学ぶ材料	a. 動物（昆虫）
Ⅲ学び	e. 生物多様性 f. 外来生物対策 h. 動物の生態
関連する学習単元	・いきものと　なかよし（小 1・生活） ・生きもの　なかよし　大作せん（小 2・生活） ・しぜんのかんさつ（小 3・理科） ・こん虫の育ち方（小 3・理科） ・生物の種類の多様性と進化（中 3・理科） ・生物と環境（中 3・理科） ・自然環境の保全と科学技術の利用（中 3・理科）
備考	

コース名	30. 家畜ってどんな動物？
内容	家畜って何でしょう？ 家畜には、牛、馬、豚、ヤギ、ヒツジ、鶏などいろいろな種類の動物がいます。 家畜は私たちの生活に欠かせない存在ですが、なぜそのような存在といえるのでしょうか？ 動物ふれあい広場にいるヤギ、ヒツジたちを観察してみましょう。
対象	誰でも
所要時間	45 分程度
対応人数	30 名まで
Ⅰ学ぶ方法	a. ツアー ④動物やエサ、排泄物、行動を観察する
Ⅱ学ぶ材料	a. 動物
Ⅲ学び	k. 家畜とヒト
関連する学習単元	・わたしたちの生活と食料生産（小 5・社会）
備考	



コース名	31. 哺乳類と鳥類と爬虫類と両生類と魚類と昆虫
内容	動物と言っても、哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、魚類、昆虫といった色々な種類の動物がいます。熊本市動植物園にも様々な種類の動物がいます。 実際の動物たちを観察して、それぞれの特徴や何が違うのかを自分たちで調べて勉強しよう。
対象	誰でも
所要時間	45 分程度
対応人数	30 名まで
Ⅰ学ぶ方法	a. ツアー ④動物やエサ、排泄物、行動を観察する
Ⅱ学ぶ材料	a. 動物
Ⅲ学び	g. 動物の体
関連する学習単元	・生物の観察と分類の仕方（中 1・理科） ・生物の体の共通点と相違点（中 1・理科） ・生物の種類の多様性と進化（中 3・理科）
備考	

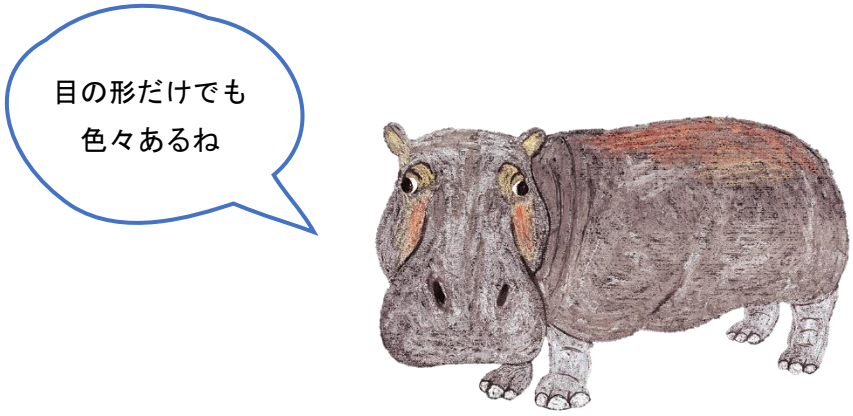
コース名	32. 色とりどりの鳥たち
内容	この地球上には約 9,000 種類の鳥たちが生息しています。 すむ場所や環境によって、その姿形は様々です。 重さが数ｇの鳥、100 kgを超える鳥、飛べる鳥、飛べない鳥、肉食の鳥、草食の鳥、黒い鳥、白い鳥、鮮やかな色彩を持つ鳥。 動物園で主役になることが少ない鳥たちですが、その生態を知ると、とても魅力のある動物だと気づかされます。 そんな鳥たちを観察してみましょう。
対象	誰でも
所要時間	45 分程度
対応人数	30 名まで
Ⅰ学ぶ方法	a. ツアー ④動物やエサ、排泄物、行動を観察する
Ⅱ学ぶ材料	a. 動物（鳥）
Ⅲ学び	e. 生物多様性 h. 動物の生態
関連する学習単元	・生きもの　なかよし　大作せん（小 2・生活） ・しぜんのかんさつ（小 3・理科） ・生物の観察と分類の仕方（中 1・理科） ・生物の体の共通点と相違点（中 1・理科） ・生物の種類の多様性と進化（中 3・理科）
備考	鳥インフルエンザの防疫措置のため中止となる場合があります。

コース名	33. 2023 年うんこの旅
内容	熊本市動植物園には肉食の動物、草食の動物、雑食の動物がいます。食べ物が違うと、うんこも違う。うんこが違えばにおいも違う。 実際の動物のうんこをよく見て、嗅いで、観察して違いを学ぼう。 また、うんこの状態は動物の体調によっても変化するため、言葉を話すことのできない動物の健康状態を把握する、大切なバロメーターとなります。飼育員や獣医師はどのような目でうんこを見ているのでしょうか？。
対象	誰でも
所要時間	1 時間程度
対応人数	30 名まで
Ⅰ学ぶ方法	a. ツアー ④動物やエサ、排泄物、行動を観察する
Ⅱ学ぶ材料	e. うんこ
Ⅲ学び	h. 動物の生態
関連する学習単元	・いきものと　なかよし（小 1・生活） ・生きもの　なかよし　大作せん（小 2・生活） ・しぜんのかんさつ（小 3・理科） ・体のつくりとはたらき（小 6・理科）
備考	

コース名	34. 渓流の小宇宙を探索しよう～水の中の小さな生物～
内容	熊本市動植物園を流れる小さな渓流。そのきれいな水の中にはルーペで見ないとわからないほどの小さな生きものが生息しています。そんな小さな生きものも生態系にとってはとても大切な存在です。 渓流から生きものを採取してルーペで見てみよう。
対象	誰でも
所要時間	1 時間程度
対応人数	30 名まで
Ⅰ学ぶ方法	a. ツアー ④動物やエサ、排泄物、行動を観察する
Ⅱ学ぶ材料	a. 動物 i. その他（渓流）
Ⅲ学び	e. 生物多様性 h. 動物の生態
関連する学習単元	・しぜんのかんさつ（小 3・理科） ・生物どうしの関り（小 6・理科） ・生物の観察と分類の仕方（中 1・理科） ・生物の種類の多様性と進化（中 3・理科） ・生物と環境（中 3・理科） ・自然環境の保全と科学技術の利用（中 3・理科）
備考	深さ さ 40 ㎝ほどの小川に入ります。濡れてもよい服装と履物が必要です。雨天の場合、中止または内容変更となることがあります。

コース名	35. どんぐりと動物
内容	秋になると動植物園のあちらこちらにどんぐりが実ります。 また、森にすむ動物の中には、どんぐりを食べる動物がいます。森のどんぐりが少なくなると動物たちは困ってしまい、人のすむ街や畑へエサを探しに来て、人に迷惑をかけることがあります。 森にすむ動物たちと、人とが共生するためには、どうすればよいのでしょうか？ 動物のために園内でどんぐりを拾いながら、森にすむ動物たちのことを考えます。
対象	誰でも
所要時間	1 時間程度
対応人数	30 名まで
Ⅰ学ぶ方法	a. ツアー ④動物やエサ、排泄物、行動を観察する
Ⅱ学ぶ材料	a. 動物 d. エサ
Ⅲ学び	e. 生物多様性 h. 動物の生態
関連する学習単元	・たのしい　あき　いっぱい（小 1・生活） ・生物どうしの関り（小 6・理科） ・生物と地球環境（小 6・理科） ・生物の種類の多様性と進化（中 3・理科） ・生物と環境（中 3・理科） ・自然環境の保全と科学技術の利用（中 3・理科）
備考	

コース名	36. よく見てみ隊
内容	同じ動物でもオスとメスには様々な体の違いがあります。動物によっても目、耳の形、体の形など様々な違いがあります。 また、人間とは違うところが多くあります。 動物をよ～く観察してみよう。
対象	誰でも
所要時間	45 分程度
対応人数	30 名まで
Ⅰ学ぶ方法	a. ツアー ④動物やエサ、排泄物、行動を観察する
Ⅱ学ぶ材料	a. 動物
Ⅲ学び	g. 動物の体
関連する学習単元	・しぜんのかんさつ（小 3・理科） ・体のつくりとはたらき（小 6・理科） ・動物の体のつくりと働き（中 2・理科）
備考	



コース名	37. ホタルを知ろう！
内容	初夏、動植物園の中にホタルが発生する場所があります。そこにはきれいな小川が流れ、ホタルの幼虫のエサとなる貝が生息しています。 ホタルが生息する環境はどのような環境なのか、ホタルはどのように成長するのかを勉強します。
対象	誰でも
所要時間	45 分程度
対応人数	30 名まで
Ⅰ学ぶ方法	a. ツアー ④動物やエサ、排泄物、行動を観察する
Ⅱ学ぶ材料	i. その他（園内の小川）
Ⅲ学び	e. 生物多様性 h. 動物の生態
関連する学習単元	・こん虫の育ち方（小 3・理科） ・動物のすみか（小 3・理科） ・生物と地球環境（小 6・理科） ・生物と環境（中 3・理科）
備考	

コース名	38. 動物と世界地図
内容	アフリカゾウはアフリカ、アムールトラはシベリア、アカカンガルーはオーストラリア、プレーリードックは北アメリカ、カピバラは南アメリカに生息しています。 それぞれの大陸にどのような動物がいて、どのようにくらしているのか？ 世界地図を手にして、グローバルな視点で動植物園を歩こう。
対象	誰でも
所要時間	45 分程度
対応人数	30 名まで
Ⅰ学ぶ方法	a. ツアー ④動物やエサ、排泄物、行動を観察する
Ⅱ学ぶ材料	a. 動物
Ⅲ学び	h. 動物の生態
関連する学習単元	・わたしたちの国土（小 5・社会） ・世界のさまざまな地域（中 1・社会）
備考	

コース名	39. 飼育員さんになってみよう
内容	動物園の飼育員はどんな仕事をしているのでしょうか？ 普段見ることのできないバックヤードにも入りながら、動物たちのエサの準備やお部屋のお掃除等、飼育員さんになって動物たちのお世話をしてみましょう。
対象	誰でも
所要時間	1 時間 30 分程度
対応人数	20 名まで
Ⅰ学ぶ方法	b. ワーク ①飼育体験
Ⅱ学ぶ材料	a. 動物 i. その他（飼育員）
Ⅲ学び	a. 飼育員の仕事
関連する学習単元	・はたらく人とわたしたちのくらし（小 3・社会）
備考	

コース名	40. 一日獣医さん体験
内容	動物園の獣医師はどんな仕事をしているのでしょうか？ 動物園の獣医師になりきって薬の準備や健康チェックを体験します。
対象	誰でも
所要時間	1 時間 30 分程度
対応人数	20 名まで
Ⅰ学ぶ方法	b. ワーク ①飼育体験
Ⅱ学ぶ材料	a. 動物 i. その他（獣医師）
Ⅲ学び	b. 獣医師の仕事
関連する学習単元	・はたらく人とわたしたちのくらし（小 3・社会）
備考	

コース名	41. 動物たちの献立
内容	熊本市動植物園には約 130 種類の動物たちが飼育されています。 動物の種類によって、食べる物、食べる量は様々です。 動物たちの食事はどのようにして決められ、どのように調理されているでしょうか。 飼育員と一緒にエサの用意をしてみましょう。
対象	誰でも
所要時間	1 時間 30 分程度
対応人数	20 名まで
Ⅰ学ぶ方法	b. ワーク ①飼育体験
Ⅱ学ぶ材料	a. 動物 d. エサ
Ⅲ学び	a. 飼育員の仕事 h. 動物の生態
関連する学習単元	・いきものと　なかよし（小 1・生活） ・生きもの　なかよし　大作せん（小 2・生活） ・しぜんのかんさつ（小 3・理科）
備考	

コース名	42. 命って何だろう？
内容	動物の心臓の音を聞いたことがありますか？ 動物の体温を感じたことはありますか？ 動物ふれあい広場の動物たちと触れ合って、『命』を実感してみませんか？
対象	誰でも
所要時間	45 分程度
対応人数	20 名まで
Ⅰ学ぶ方法	b. ワーク ②動物とのふれあい体験
Ⅱ学ぶ材料	a. 動物
Ⅲ学び	i. 動物愛護
関連する学習単元	・自然愛護（小学校　中学校　道徳）
備考	

動物って温かいね

コース名	43 ゾウのふんを用いたハガキ作り
内容	ゾウが何を食べているか知っていますか？ ゾウが食べているエサやその食べたエサがどのように消化されてふんとして出てくるかについて学びます。 さらに、ゾウのふんに含まれる干し草をパルプ化してハガキを作ります。
対象	誰でも
所要時間	1 時間 30 分程度
対応人数	20 名まで
Ⅰ学ぶ方法	b. ワーク ③工作、図鑑作成、スケッチ等
Ⅱ学ぶ材料	e. うんこ
Ⅲ学び	e. 生物多様性 h. 動物の生態
関連する学習単元	・体のつくりとはたらき（小 6・理科） ・生物の種類の多様性と進化（中 3・理科） ・生物と環境（中 3・理科）
備考	

コース名	44. シカのツノで工作
内容	秋は、キュウシュウジカ達にとって恋の季節です。オスはこの時期、メスをめぐって立派なツノを突き合わせて闘争し、ツノでけがをしてしまうことがあります。 そこで、動植物園では秋になるとキュウシュウジカのツノを切ります。 一方、最近では野生のシカによる農作物への被害が深刻で、毎年 50 万頭以上のシカが駆除されています。駆除されたシカの肉・皮・ツノ・骨は、昔は資源として利用されてきましたが、今ではそのほとんどが捨てられています。 切ったシカのツノを利用しての工作を通じて、シカのことを知り、人とシカとの関係を考えます。
対象	誰でも
所要時間	1 時間程度
対応人数	20 名まで
Ⅰ学ぶ方法	b. ワーク ③工作、図鑑作成、スケッチ等
Ⅱ学ぶ材料	c. ツノ
Ⅲ学び	e. 生物多様性 n. その他（SDGs）
関連する学習単元	・季節と生物（小 4・理科） ・わたしたちの生活と環境（小 5・社会） ・生物の種類の多様性と進化（中 3・理科） ・生物と環境（中 3・理科） ・自然環境の保全と化学技術の利用（中 3・理科）
備考	

こんな可愛いアクセサリーが作れるよ

コース名	45. ヒツジの毛から毛糸作り体験（フェルトボール作り）
内容	ヒツジの毛から毛糸が作られるのは知っていますよね。でもどうやって作られているか知っていますか？ 動物ふれあいの広場のヒツジは 1 年に 1 回毛刈りをします。その刈り取った毛から専用の道具を使って毛糸を作る体験を通して、ヒツジの特徴や人と家畜との関係を学びます。
対象	誰でも
所要時間	1 時間程度
対応人数	20 名まで
Ⅰ学ぶ方法	b. ワーク ③工作、図鑑作成、スケッチ等
Ⅱ学ぶ材料	i. その他（ヒツジの毛）
Ⅲ学び	k. 家畜とヒト
関連する学習単元	・私たちの生活と食料生産（小 5・社会）
備考	ヒツジの毛は事前に刈り取ったもので、当日毛刈りは行いません。 毛糸作りかフェルトボール作りのどちらかになります。

コース名	46. 日本の動物の図鑑を完成させよう
内容	熊本市動植物園で飼育されている動物たちの中には、イヌワシやタンチョウ、タヌキ、アナグマといった日本に生息する動物たちもたくさんいます。 これらの動物の観察を通して知ったことをまとめて、オリジナルの図鑑を作ってみよう。
対象	誰でも
所要時間	1 時間程度
対応人数	20 名まで
Ⅰ学ぶ方法	b. ワーク ③工作、図鑑作成、スケッチ等
Ⅱ学ぶ材料	a. 動物
Ⅲ学び	d. 絶滅危惧種 e. 生物多様性 h. 動物の生態
関連する学習単元	・しぜんのかんさつ（小 3・理科） ・体のつくりとはたらき（小 6・理科） ・動物の体のつくりと働き（中 2・理科）
備考	

どんな図鑑ができるかな？

コース名	47. 交雑種アラート発令！
内容	今、日本で外国産のカブトムシやクワガタが問題になっていることを知っていますか？　逃げたり捨てられたりした外国産のカブトムシやクワガタと、日本のカブトムシやクワガタとの間に交雑種が生まれることが問題だというのです。 でも、どうして交雑種が生まれると問題なの？　かっこいい交雑種だったらいいんじゃない？ そんな疑問を遺伝子の面から謎といていきます。
対象	小学校高学年以上推奨
所要時間	1 時間程度
対応人数	30 名まで
Ⅰ学ぶ方法	c. スタディ
Ⅱ学ぶ材料	a. 動物（カブトムシ、クワガタ）
Ⅲ学び	e. 生物多様性 f. 外来生物対策
関連する学習単元	・生物と地球環境（小 6・理科） ・生物の種類の多様性と進化（中 3・理科） ・生物と環境（中 3・理科） ・自然環境の保全と科学技術の利用（中 3・理科）
備考	

コース名	48. 外来生物って何？
内容	江津湖に隣接する動植物園はきれいな小川が流れていて、緑豊かな環境です。 そんな豊かな環境の動植物園の中にも外来生物が侵入し、繁殖しています。 外来生物とは何なのか？　なぜ、外来種が侵入するのか？　外来種の実物を観察しながら考えます。
対象	小学校高学年以上推奨
所要時間	1 時間程度
対応人数	30 名まで
Ⅰ学ぶ方法	c. スタディ
Ⅱ学ぶ材料	i. その他（外来生物）
Ⅲ学び	e. 生物多様性 f. 外来生物対策
関連する学習単元	・生物と地球環境（小 6・理科） ・生物の種類の多様性と進化（中 3・理科） ・生物と環境（中 3・理科） ・自然環境の保全と科学技術の利用（中 3・理科）
備考	駆除作業を合わせて行うことも可能です。

動植物園に繁茂する
ブラジルチドメグサ

5.　学習プログラム事例一覧

１６ページから６３ページで紹介したプログラムの一覧を示します。

表の「Ⅰ学ぶ方法」、「Ⅱ学ぶ材料」、「Ⅲ学び」内の記号は２ページの図内の記号を参照ください。

No.	コース名	Ⅰ 学ぶ 方法	Ⅱ 学ぶ 材料	Ⅲ 学び	学習単元									
					小１	小２	小３	小４	小５	小６	中１	中２	中３	その他
a.ツアー														
1	生きものガイド	a①	a	h										
2	キートーク ～動物の赤ちゃん～	a①	a,g	c,h	生活	生活	理科		理科					
3	キートーク ～動物園の裏側～	a①	a,g	a,b,c	生活	生活	理科							
4	熊本地震を乗り越えて	a①	a,f,i	m			社会	社会	社会					
5	ゾウのエリー	a①,④	a,b,g	i,n						社会				
6	江津湖の湧水と動植物園	a①	g,h	j						理科			理科	
7	季節と動物	a①	a	h				理科						
8	動植物園で絵本の読み聞かせ	a①	i	n										
9	熊本の伝統鶏　肥後五鶏	a①	a	k				社会						
10	阿蘇と動植物園	a①	d,g,i	e,j				社会	社会	理科				
11	動物園の役割と SDGs	a①	a,i	c,e,n						理科			理科	
12	YouTube で予習、動植物園で質問	a①	a,g,i	a,b,c,e,h	生活	生活	理科			理科				
13	キャリア教育～飼育員・獣医師として動物園ではたらくために～	a①	i	n										キャリア教育
14	どうして動物園にいるのかな？～保護された動物たち～	a①,④	a	i										道徳
15	動物園の飼育員さん	a①	a,i	a,c,l			社会							
16	動物園の獣医さん	a①	a,i	b,c,l			社会							
17	アフリカゾウと飼育員と獣医師	a ①②,④	a,i	a,b,l	生活	生活	理科 社会			理科				道徳
18	動物園の動物病院を見てみよう	a②,③	a,f,i	b			社会							
19	動物園の裏側ツアー	a③	a	a,h	生活	生活	理科							
20	熊本に生息する動物たち	a①,④	a	h			理科	社会	社会					
21	教科書・絵本に出てくる動物たち	a④	a	h	生活	生活	理科							
22	動物たちが幸福に暮らせるために	a①,②,③,④	a,f	h,l						理科			理科	

No.	コース名	Ⅰ 学ぶ 方法	Ⅱ 学ぶ 材料	Ⅲ 学び	学習単元									
					小 1	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6	中 1	中 2	中 3	その他
23	動物たちのお食事観察	a④	a,i	h,l			理科			理科		理科	理科	道徳
24	ゾウの竹採食	a①,④	a	g	生活	生活	理科							
25	キリンの高さは何メートル？　ゾウの重さは何トン？	a①,④	a	g	生活	生活 算数	理科 算数							
26	絶滅危惧種	a④	a	c,d						理科			理科	
27	日本の天然記念物・希少野生動物	a④	a	c,d,e			理科	社会	社会				理科	
28	江津湖の外来種と在来種	a④	a	d,e,f,j									理科	
29	世界のカブトムシとクワガタ	a④	a	e,f,h	生活	生活	理科						理科	
30	家畜ってどんな動物？	a④	a	k					社会					
31	哺乳類と鳥類と爬虫類と両生類と魚類と昆虫	a④	a	g							理科		理科	
32	色とりどりの鳥たち	a④	a	e,h		生活	理科				理科		理科	
33	2023 年うんこの旅	a④	e	h	生活	生活	理科			理科				
34	渓流の小宇宙を探索しよう～水の中の小さな生物～	a④	a,i	e,h			理科			理科	理科		理科	
35	どんぐりと動物	a④	a,d	e,h	生活					理科			理科	
36	よく見てみ隊	a④	a	g			理科			理科		理科		
37	ホタルを知ろう！	a④	i	e,h			理科			理科			理科	
38	動物と世界地図	a④	a	h					社会		社会			
b.ワーク														
39	飼育員さんになってみよう	b①	a,i	a			社会							
40	一日獣医さん体験	b①	a,i	b			社会							
41	動物たちの献立	b①	a,d	a,h	生活	生活	理科							
42	命ってなんだろう？	b②	a	i										道徳
43	ゾウのふんを用いたハガキ作り	b③	e	e,h						理科			理科	
44	シカのツノで工作	b③	c	e,n				理科	社会				理科	
45	ヒツジの毛から毛糸作り体験（フェルトボール作り）	b③	i	k					社会					
46	日本の動物の図鑑を完成させよう	b③	a	d,e,h			理科			理科		理科		

No.	コース名	Ⅰ 学ぶ 方法	Ⅱ 学ぶ 材料	Ⅲ 学び	学習単元									
					小 1	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6	中 1	中 2	中 3	その他
c.スタディ														
47	交雑種アラート発令！	c	a	e,f						理科			理科	
48	外来生物って何？	c	i	e,f						理科			理科	

6.　学習ツールを利用した学習

学習プログラムに参加しなくても、動植物園内を散策しながら学習することができます。また、自宅や教室にいながら、配信動画などで学習することもできます。

ここでは、『学習プログラムに参加しなくても、動物のことが学習できるツール』についてご紹介します。

※ここで紹介する学習ツールは事前の申し込みは必要ありません。自由にご活用ください。

①どうぶつ案内看板

展示場に設置されている「どうぶつ案内看板」は動物の名前、生息地の他、その動物の特徴が記されています。

②飼育員がデザインした解説パネル

展示場に、飼育員がデザインした解説パネルが設置されていることがあります。

解説パネルでは、その動物の身体的特徴であったり、現在おかれている状況であったりを学習することができます。

まず動物を見て、次に解説パネルを読んで、再び動物に目を向けると、違った視点で動物を見ることができます。

③いきもの学習センター

いきもの学習センターは、動植物園の観覧車の近くにあります。

いきもの学習センターを訪れると、その名のとおり“いきもの”について学習することができます。

いきもの学習センターには生きたカブトムシやクワガタなどの昆虫、カエルや希少なサンショウウオなどの両生類が展示・解説されているだけでなく、熊本市動植物園で飼育されていた動物たちから作った骨格標本や剥製があります。

飼育されていた動物たちが亡くなった後も、標本となり、私たちに“いきもの”の魅力を伝えてくれています。

④水辺のインフォメーションセンター

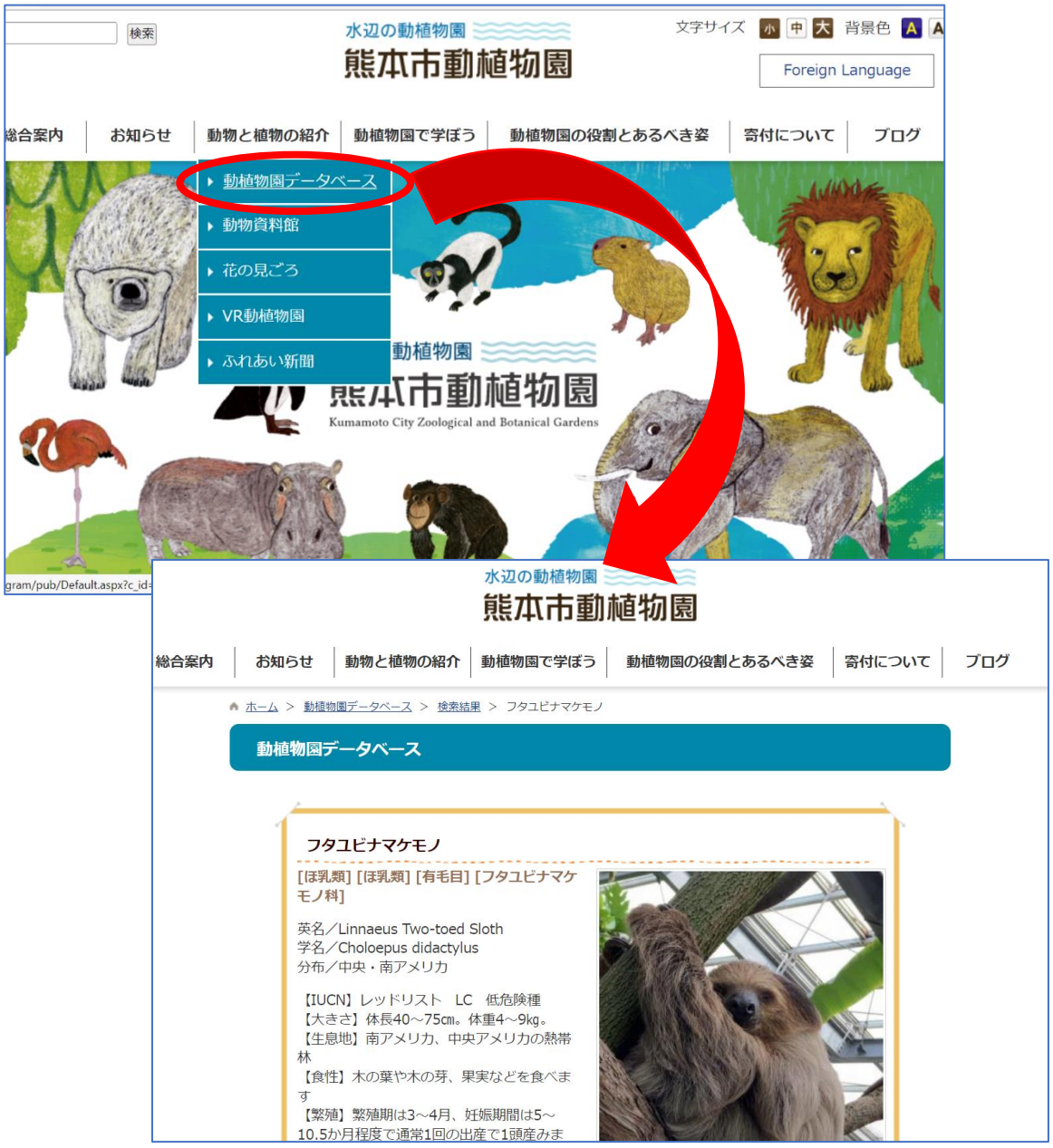
入園料が不要の水辺のインフォメーションセンターは、動植物園西門出入り口の横にあります。水辺のインフォメーションセンターには江津湖に生息する希少な魚や、それらを脅かす外来魚が展示され、さながら小さい水族館のようです。

また、江津湖の成り立ちや江津湖に関する歴史を学べるコーナーがあります。

「江津湖の希少な魚を見て、江津湖の歴史を知る」、そんな場所を無料で見ることができます。

⑤熊本市動植物園公式ホームページ

公式ホームページ（https://www.ezooko.jp）では、動植物園の最新情報だけでなく、動植物たちの詳しい情報を見ることができます。動植物園データベースには、約 100 種類の動物と約 130 種類の植物に関する情報が掲載されています。



⑥熊本市動植物園公式 YouTube Kumamoto Zoo Channel（クマモトズーチャンネル）

Kumamoto Zoo Channel では約 100 本の動画を配信しています。動物だけでなく、飼育員や獣医師も出演して動物のことを優しく、楽しく、解説しています。

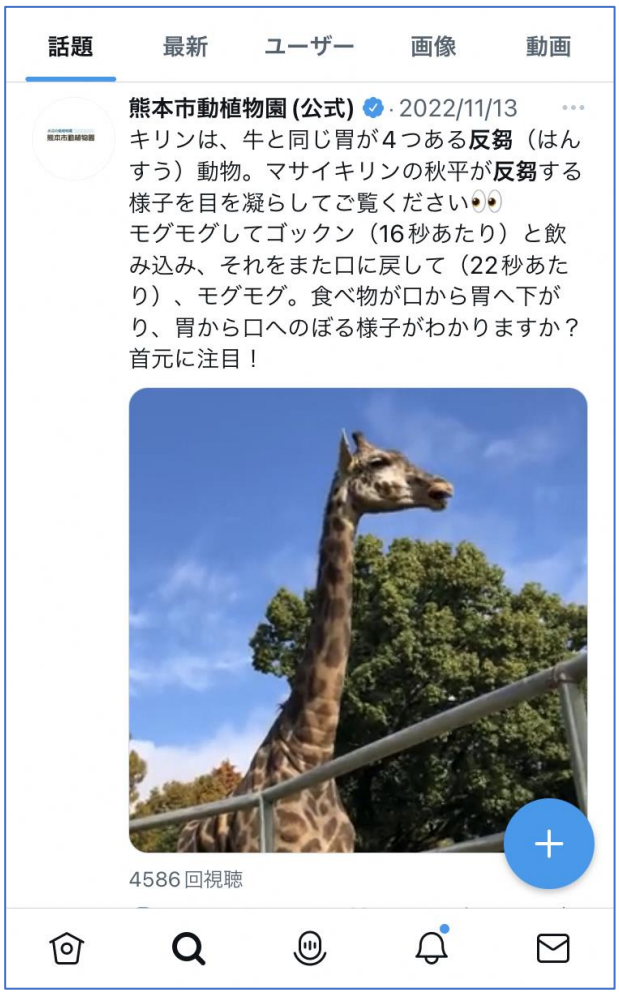
⑦SNS

熊本市動植物園の公式 Twitter、Instagram、Facebook では、イベントなどの情報だけでなく、日々の動物たちの様子が投稿されています。

数枚の写真、数分の動画、数十文字のコメントですが、動物の特徴をピンポイントに捉えており、動物を知ることができます。

動植物園の公式 SNS をフォローしましょう！

Twitter



Instagram

熊本市動植物園　学習プログラム　申込書

年　月　日

熊本市動植物園学習プログラムについて、以下のとおり申し込みます。

<table>
<tr><td>ふりがな</td><td colspan="3"></td><td>ふりがな</td><td></td></tr>
<tr><td>団体名</td><td colspan="3"></td><td>担当者</td><td></td></tr>
<tr><td>住所</td><td colspan="5"></td></tr>
<tr><td rowspan="3">担当者の
連絡先
（日中連絡のつく連絡先をご記入ください。）</td><td>電話</td><td colspan="2"></td><td>FAX</td><td></td></tr>
<tr><td>E-mail</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td colspan="2">連絡がつく時間帯</td><td colspan="3">（例：いつでも連絡可 ・ 平日〇時～〇時　など）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">受講者</td><td>学年（年齢）</td><td colspan="2"></td><td>クラス数</td><td></td></tr>
<tr><td>人数</td><td colspan="4">合計　　名（生徒　　名　　職員　　名）</td></tr>
<tr><td>受講の目的</td><td colspan="5">（例：学習単元〇〇の学習のため ・ 子ども会の環境教育のため　など）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">希望日時</td><td>第 1 希望日</td><td colspan="4">年　月　日　時　分～　時　分</td></tr>
<tr><td>第 2 希望日</td><td colspan="4">年　月　日　時　分～　時　分</td></tr>
<tr><td>予定滞在時間</td><td colspan="5">時　分～　時　分</td></tr>
<tr><td rowspan="2">希望するプログラムの内容</td><td colspan="2">p16～p66 のプログラム事例から選択する場合は番号とプログラム名を記載してください</td><td colspan="3">（例： 2 .キートーク～動物の赤ちゃん～）</td></tr>
<tr><td colspan="2">プログラム事例以外のプログラムを希望する場合は、動植物園の担当者とのヒアリングの後に決定いたします。（右欄は記入不要です。）</td><td colspan="3">（動植物園側　記入欄）</td></tr>
<tr><td>その他、留意事項がありましたら記載ください。</td><td colspan="5">（例：色覚、聴覚、車イスに配慮　など）</td></tr>
</table>

・上記枠内を記載し、受講希望日の 1 か月前までに FAX（096-365-5671）で提出してください。

・キャンセルする場合は、必ず TEL（096-368-4416）してください。

・お申し込みが遅い場合や、他の団体と受講希望日が重なった場合、動植物園のイベントと重なった場合は、ご希望の日時に実施できない場合がございます。

みんな学び
にきてねぇ